

まちだ今昔 時空を超えた対話;縄文ムラと商都



【期間】7月14日(土)～9月17日(月祝)

【場所】町田市立博物館

1958(昭和33)年に市制が敷かれ、開発と発展が急速に進んだ頃の商都町田や人々の暮らしの姿。そして発掘調査が明らかにした縄文時代、豊かなふるさと・町田地域の姿を、博物館と教育委員会所蔵の民俗・考古資料によって紹介する。時空を超えた2つの町田はどう対話したか。鉄道関係の展示ではミニSLと記念撮影も。一般300円(中学生以下無料、障がい者半額)

☎町田市立博物館 042-726-1531

町田市立室内プール 夏休みイベント



【期間】7月21日(土)～9月1日(土)

【場所】町田市立室内プール

9月から1年間行われる大規模改修のため、毎年9月開催の「プール祭り」を今年は8/31(金)に実施する。ミニゲームをはじめ、工作教室、ドリンクの無料配布、当日限りの模擬店など楽しい催しが盛りだくさん。また夏休み期間は、サマータイムで30分繰り上げOPENし、毎週末にはミニイベントも予定。大人300円(65歳以上・障がい者・小学生は100円)、8/31のみ入場無料

☎町田市立室内プール 042-792-7761

まちだ〇ごと大作戦 「作戦会議」



8月3日(金)10時～12時 忠生市民センター、19時～21時 和光大学ポブリホール鶴川。4日(土)13時～16時 市庁舎会議室。まちだ〇ごと大作戦は、様々な業種や立場の人が集まり、結びつきを強めながらアイデアを話し合っ、自ら「やってみよう」を実現していく取り組み。春に続き、お互いの提案を共有、共感する仲間づくりやアイデア磨きを目的に「作戦会議」が行われる。初参加も大歓迎。仲間探しのチャンス!わいわい楽しい会にご参加を。

☎実行委員会事務局 042-724-4084

生涯学習センター 「夏の平和イベント」



【期間】8月3日(金)～9日(土)

【場所】生涯学習センター6・7階

親子クッキングやランブシェードづくり、将棋講座、ワークショップなど、子どもから大人まで楽しみながら戦争の記憶や平和のあり方について考えるプログラム。9時～17時。イベントは7月22日(日)14時からフォトジャーナリスト 安田菜津紀氏の講演会と座談会、29日(日)14時～15時のハンドベルコンサート。詳細は「町田生涯学習センター」で検索を。いずれも入場無料

☎町田生涯学習センター 042-728-0071

迫力あるパラスポーツを 観戦&体験しよう



TOKYO2020を2年後に控え、パラスポーツイベントを市内各地で開催。8/18(土)19(日)は「全国車椅子バスケットボール大学選手権大会」。19日の決勝戦の前には小学1年生以上を対象とした体験会も有。申込はgbp.taikenkoza@gmail.comへ8/10(金)まで。また5月にインドネシア代表チームの事前キャンプ地に決定するなど、昨年に続いて開催される「パラバドミントン国際大会」は9/26(水)～30(日)。いずれも市立総合体育館。入場無料

☎町田市オリパラ等推進課 042-724-4442

可喜くらし 「ありものいかしの旅」



【期間】9月8日(土)

【場所】可喜庵(鈴木工務店敷地内)

江戸末期(1863年)に建てられた茅葺き屋根の古民家「可喜庵」で行うサロン企画。元・天童木工工業デザイナーの藤川征輝氏とスウェーデン出身テキスタイルデザイナーのエルヴィーラ・ヴィクストローム氏を招いて、『北欧のデザイン×日本のデザイン』をテーマにお話を伺う。14時～16時(開場13時30分)会費2,000円(ドリンク付き)要予約

☎株式会社鈴木工務店 042-735-5771

まちびと写真館

天満宮秋季例大祭

昭和25年9月

其の十



現在の神輿は平成5年に新調された。下、写真の中央に写る神輿は天保年間以前より担がれてきたもので現在は神輿庫に常時展示されている。

撮影した場所

町田村原町田

現在の原町田大通り(民間交番サルビア前)



400年以上続く、
雨の天神さま

町田天満宮は原町田村が本町田村から分村された天正10(1582)年に先駆け、北条氏照によって建立された。度重なる大火で創建当時の記録は存在しないが、明治3(1870)年の「原町田村明細帳」に、8月24日に神輿渡御、25日に神楽が奉納された記録が残っている。

秋の例大祭は80%の確率で雨に見舞われている。ここ40年、2日間とも晴れたのは僅か4回。しかし、悪天候でも神輿渡御は賑々しく行われ、夜遅くまで街は活気づく。

見どころは2日目、神幸祭の宮入だ。夕刻過ぎ、橋上参道に高張り提灯が並び、神職や白装束に着替えた氏子総代が見守る中、9町内を巡行した神輿の最後の練りに大きな歓声が沸き上がる。灯りが一斉に消され、宮司による御霊還しの儀が厳かに執り行われると神幸祭は幕を閉じる。

戦前から10年程は境内の土俵で相撲大会も行われた。参道の露店は賑わい、神楽や囃子に心躍らせた人々。今も昔も、天満宮の例大祭は「祭り」という一言では片付けられない、人々の心のよりどころなのだ。